

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年7月15日 No.64

歴史的な世界大会成功へ 代表派遣と資材普及で奮闘を

日本原水協は14日、「大会まであと3週間！代表派遣と資材普及での緊急のお願い」を出し、当初の方針通り、全国的にもそれぞれの都道府県でも代表派遣で2000年以来、最大の目標突破、資材でも昨年を上まわる普及を必ず達成するよう、最終版の奮闘を呼びかけています。

「原子力空母配備阻止7・13全国大集会」の成功を力に 目標突破へ全力 - 神奈川

神奈川県原水協では、7・13集会の成功を力に大奮闘を開始しています。日本原水協からの「訴え」も正面からうけとめ、『原子力空母は止められる！7・13全国大集会3万の熱気を背に一気に400人の目標を突破しよう』との檄・ニュースも発行し奮闘しています。集会の勢いを世界大会の代表派遣につなげようと、神奈川土建25、生協労組9、神商連（目標まであと4名）青年25名など奮闘がひろがっています。地域では西相模原水協が13名目標で8名到達となっており、全県で26日には400名を達成しようと頑張っています。

平和の祈りこめ全国64人が自転車リレー 第14回反核平和自転車リレー 北海道

7月11日から13日にかけて、道東勤医協反核平和自転車リレー実行委員会（道東勤医協、道東勤医協労働組合共催）は、第14回反核平和自転車リレーを行い、根室市納沙布岬から釧路市までの154キロメートルを平和の祈りをこめてペダルをこぎました。このリレーには、64人が参加。沖縄からも4人が参加しました。今回のリレーは、前夜祭で「根室市空襲」の実態を学び、途中、根室市曙町、釧路市堀川町で「すみやか」署名を行い、262筆を集めることができました。（釧路原水協 山本 隆幸）



青年が自ら前に出て訴えれば協力してもらえる 40人以上のバスツアーに取り組む 埼玉

埼玉では、6月はじめから青年が独自に原水爆禁止世界大会への参加者を組織し、「核兵器なくそう・世界青年のつどい」を成功させようと、実行委員会をつくってがんばっています。

川越市の学生の実行委員は、各地の集会や地元の国民平和大行進にも参加し、1人で募金を訴えました。その結果、12万3千円の募金が集まり、一緒に参加する学生と自分の参加費の大半7万円を差し引き、5万3千円をバス代援助募金に回すことができました。

その経験を聞いた実行委員会では、「今、青年が自ら前に出て訴えれば、快く協力してもらえる」「やりきって40人以上のバスツアーにしよう」と新たな決意を固めました。

7月5日には、プレ企画として「被爆の体験聞き取り会」を開催。青年を過ぎた人も数人参加してくれましたが、20名を超える参加で成功させることができました。

7月30日には、アメリカから世界大会に参加する青年を迎えて交流会を開催します。実行委員会では、「こんなこと聞いてみたい」など活発な意見が出されています。